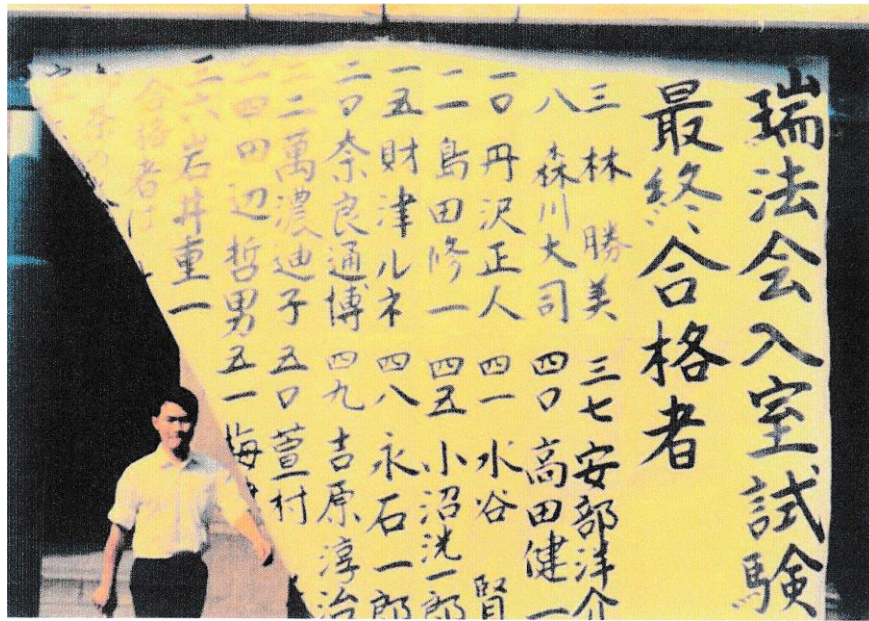


林勝美 中央大学 瑞法会研究室時代



中央大学学術研究団体連合会「瑞法会研究室」昭和42年(1967年)入室(第55期)
瑞法会研究室は、1936年の創立から現在まで長い歴史を有し、これまで、弁護士、裁判官、検察官等を法曹界に送り出した数は、約500名にのぼる。会員からは、2名もの高裁長官の就任を見ており、後輩への大きな励みになっている。写真は、入室試験最終合格発表の掲示(右端上段に林勝美の名前)であるが、35倍の難関を乗り越えて、夜間部から入室を許されたのは、私(林勝美)一人であった。



「瑞法会研究室」昭和42年(1967年)第55期入会式

立って挨拶しているのは、花井忠会長(元検事総長)。
中央右から3人目学生服が私(林勝美)です。同右端は、
後の岩井重一弁護士(平成16年度東京弁護士会会長)。